

GBJ Symposium

一般社団法人グリーンビルディングジャパン(GBJ)、USGBC 主催

GBJシンポジウム2024

2024年10月24日 (木) 13:00-18:30

神田明神ホール (東京都千代田区)

Theme

[テーマ]

都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン
～構想から実践へ 脱炭素の次なるステップ～

パネルディスカッション 登壇者紹介

6人の先駆者



相浦 みどり
(あいのうら みどり)

建築家
PLPアーキテクチャー パートナー



飯田 美樹
(いいた みき)

カフェ文化、パブリック・ライフ研
究家



東浦 亮典
(とううら りょうすけ)

東急株式会社 常務執行役員



平松 宏城
(ひらまつ ひろき)

LEEDフェロー/GBJ共同創設者
株式会社ヴォンエルフ・株式会社
Arc Japan 代表取締役
合同会社ロンボワン 共同経営者



齋藤 敦子
(さいとう あつこ)

GBJ運営委員
コクヨ株式会社
一般社団法人 Future Center
Alliance Japan 理事



馬場 正尊
(ばば まさたか)

建築家
株式会社オープンA 代表取締役社長



藤間 朋久
(ふじま ともひさ)

GBJ学生ユース2024年度代表



【モデレーター】
似内 志朗
(にたない しろう)

GBJ運営委員
ファシリティデザインラボ代表

パネルディスカッション趣旨説明 (モデレータ 似内)

もはや猶予を許さない**環境負荷削減**において、また人間にとって真に**快適で健康な環境**を取り戻すために、グリーンビルディングへの関心は単体の建物だけではなくコミュニティや都市全体を対象に、世界中で高まっています。**GREEN**は大きく二つに分けることができます。脱炭素・生物多様性保全・循環経済への移行などの**「環境負荷の最小化（環境課題／E課題）」**、人々が健康で快適に暮らすことができる都市・建築の在り方の希求、**「ウェルビーイングを最大化（社会課題／S課題）」**です。

近代工業社会の目指した効率的・合目的な街、車中心の都市から、知識社会に相応しい人々が楽しく健康で快適に暮らし働くことのできる、低負荷な都市への移行が必要とされています。そして**現代は「人の知が富を生む」時代**です。グリーンな都市に人々は惹きつけられ、企業が立地し、税収も増え街への再投資が、都市は繁栄し「都市間競争力」へを持ちます。グリーンな社会への移行に伴い必要となる**イノベーションと、これに伴う事業機会創出への関心**が高まっています。また、海外投資家の、企業のESG経営への関心が高まっていますと言えます。

こうした、環境・人・経済的繁栄をもたらすであろう「都市・建築のグリーン化」ですが、現在の我が国を見渡せば、**知識社会の価値観へのシフトが十分でない**状況と言わざるを得ません。車中心から人間中心のウォークアブルな都市環境への変換、人に寄り添う路面電車や自転車道の整備、緑被率の拡大、人のためのプレイスメイキング、歴史的建築物の保存・活用、既存建築物の再利用、建築物の木造化・木質化など、**さまざまな環境負荷最小化&ウェルビーイング最大化のための方策が必要**と考えます。

パネルディスカッションでは、**日本における「都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン」を一步進める**ために、この分野を牽引する都市・建築・開発・文化・サステナビリティ・イノベーションの分野を牽引する**6名の論客が登壇**いたします。それぞれの立場からの理念と実践を紹介いただき、**多角的なディスカッションを通して、未来像を共有し、状況を一步前に進めるための行動の契機にしたい**と考えます。

パネルディスカッション（14:30-16:45）

都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン

前半55分 [ショートプレゼンテーション]

- ・趣旨説明 5
- ・相浦 みどり 「Life Centric Placemaking」 10
- ・平松 宏城 「都市と自然は融合していくのだからけれど」 10
- ・飯田 美樹 「インフォーマル・パブリック・ライフからの視点」 10
- ・東浦 亮典 「都市と建築のグリーン化」 10
- ・齋藤 敦子 「都市と建築のグリーン化 オープンイノベーションの見地から」 10

～休憩10分～

後半65分 [パネルディスカッション]

- ・馬場 正尊 「パークナイズ～公園化する都市」提言 10
- ・ディスカッションテーマ「都市と建築のグリーン化」 40
- ・若い世代からの意見・感想（藤間 朋久） 5
- ・「建築・都市のグリーン化 あるべき姿とは」（各パネラー） 10

Life Centric Placemaking

Social & Environmental Sustainability



相浦 みどり (リモート)

建築家／PLPアーキテクチャー、パートナー

プロフィール

英国ロンドンの建築設計事務所PLP Architectureまた都市リサーチ&コンサルティングユニットであるPLP LABSのパートナーとして、次世代の都市研究・予測、プロジェクトのビジョニングから空間デザインまで、これまでの建築デザインの枠を超えた包括的なアプローチで未来都市像を創造する。スマートグリーンビルの金字塔であるオランダのThe Edge、ロンドン最新のサステイナブル&カルチュラルネイバーフッドBANKSIDE YARDSや内幸町再開発等、人と自然環境が共に活性化するLife Centric（生命中心）なまちづくりを推進している。

都市と自然は融合していくのだからけれど

平松 宏城

LEEDフェロー GBJ共同創設者

株式会社 ヴォンエルフ/株式会社Arc Japan 代表取締役

合同会社 ロンポワン共同経営者

プロフィール

米の証券会社勤務から環境NPOを経て2006年にヴォンエルフを立ち上げ、国際認証取得支援を通じてサステイナブルな都市環境への再構築を促す。2013年GBJの創設メンバーの一人で設立から8年間共同代表理事を務める。日本政策投資銀行、GBCIとの共同出資（株）Arc Japanの運営も主導し、ESG投資家との連携を取りながら都市や不動産のESG性能のベンチマークも推進する。



インフォーマル・パブリック・ライフからの視点

飯田 美樹

カフェ文化、パブリック・ライフ研究家



プロフィール

パリ政治学院留学中にカフェが社会変革の発端の場であったと知り、研究を開始。その後ニュータウンでの孤独な子育て中に、人が街中で気軽に集える場の重要性に気づき、研究を開始する。現在は人生を変える英文読会 World News Caféを主催。著書『カフェから時代は創られる』『インフォーマル・パブリック・ライフ～人が惹かれる街のルール～』フランス語と英語の富裕層向け通訳案内士としても活動中。

都市と建築のグリーン化 ～新たなまちづくりのビジョン～

東浦 亮典

東急株式会社 常務執行役員



プロフィール

1985年 東京急行電鉄（現 東急）入社、自由が丘駅駅員、大井町線車掌研修／1986年 都市開発部門配属／1991年 東急総合研究所出向／1994年東京急行電鉄復職／2000年 自ら企画した商業施設「グランベリーモール」開業／2002年 東急電鉄初の会員制コンセプト、賃貸マンション事業「TOP-PRIDE」スタート／2010年「クリエイティブシティコンソーシアム」、二子玉川を拠点に創設／2012年 横浜市と東急電鉄とで「次世代郊外まちづくり」の包括協定締結／2018年 初の単著「私鉄3.0」上梓／2019年 渋谷開発事業部長として「渋谷スクランブルスクエア（東棟）」開業／2021年 開発部門を離れ、フューチャーデザインラボ。沿線生活創造事業部の管掌役員に就任／2022年 常務執行役員就任、「東急百年私鉄ビジネスモデルのゲームチェンジ」上梓／2024年 都市開発本部に復帰

ショートプレゼンテーション

都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン オープンイノベーションの見地から

齋藤 敦子

コクヨ株式会社 ワークスタイルリサーチ&アドバイザー
一般社団法人 Future Center Alliance Japan 理事
GBJ運営委員

プロフィール

働き方研究とワークプレイスのデザインを専門とし、企業や行政の働く場やオープンイノベーションの環境づくりに従事。一社単独では解決できない社会課題に対して、産官学民の組織の壁を越えて共創する未来志向のイノベーション・エコシステムを形成する組織を立ち上げ理事を兼任。研究から実践までをつなぐリビングラボやフューチャーセンターなどの企画開発も行う。



GBJ Symposium



休憩



都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン

～構想から実践へ 脱炭素の次なるステップ～



パネルディスカッション（14:30-16:45）

都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン

前半55分 [ショートプレゼンテーション]

・趣旨説明 5

・相浦 みどり 「Life Centric Placemaking」 10

・平松 宏城 「都市と自然は融合していくのだからけれど」 10

・飯田 美樹 「インフォーマル・パブリック・ライフからの視点」 10

・東浦 亮典 「都市と建築のグリーン化」 10

・齋藤 敦子 「都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン」 10

～休憩10分～

後半65分 [パネルディスカッション]

・馬場 正尊 「パークナイズ～公園化する都市」提言 10

・ディスカッションテーマ「都市と建築のグリーン化」（パネラー同士のQA） 40

・若い世代からの意見・感想（藤間 朋久） 5

・「建築・都市のグリーン化 あるべき姿とは」（各パネラー） 10

パークナイズ 公園化する都市

馬場 正尊

建築家 Open A Ltd.代表取締役

東京R不動産ディレクター

東北芸術工科大学教授



プロフィール

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、雑誌『A』編集長を経て、2003年に（株）OpenAを設立。同時期に「東京R不動産」を始める。建築設計・リノベーション（建築の再生）を専門とする。主な作品に、「観月橋団地再生」（2012年）、「Under Construction」（2017年）、「旧那古野小学校施設活用事業」（2019年）など。2015年より公共空間のマッチング事業『公共R不動産』立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設『INN THE PARK』を運営。近著に『民間主導・行政支援の公民連携の教科書』（学芸出版 2019 共著）、『テンポラリーアーキテクチャー：仮設建築と社会実験』（学芸出版 2020 共著）、『パークナイズ 公園化する都市』（学芸出版 2024 共著）



藤間朋久

GBJ学生ユース2024年度代表

東京大学 工学部

プロフィール

東京大学工学部建築学科4年に在籍し、環境・設備系の研究室に所属。今年度よりGBJ学生ユースの代表を務め、昨年から新たにメンバー内でのオンライン勉強会を実施したり、建築・都市に限らず環境問題に関連した活動に取り組む他団体と協働で高校生向けワークショップやゲストの方を交えたディスカッション企画を実施したりしてきた。これらを通して、日本の若い世代にも建築・都市を切り口とした環境問題へのアプローチを浸透させようと試みている。

パネルディスカッション（後半）

「都市の公園化」という未来



平松
都市と自然の融合



相浦
Life Centric



馬場
パークナイズ（公園化する都市）



飯田
インフォーマルパブリックライフ



東浦
都市・エリア開発



齊藤
オープンイノベーション



若い世代からの感想・意見・要望



【最後に一言】 都市・建築のあるべき姿とは何か？（GREENとは何か）、そのために私たちは何をすべきか？
1-2min/person

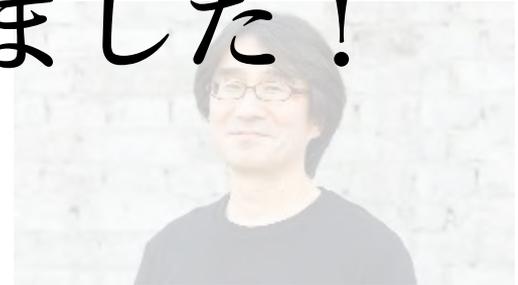
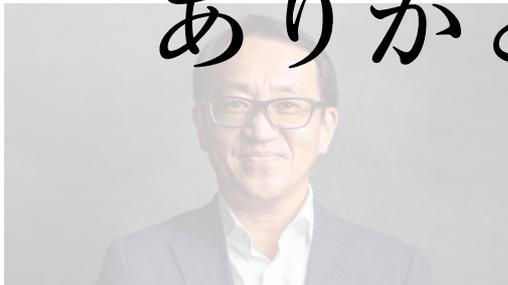


GBJ Symposium



長時間のご清聴

ありがとうございました！



都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン

～構想から実践へ 脱炭素の次なるステップ～

